

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : セラミックマジック
会社名 : 株式会社 創新
住所 : 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックストールビル3階
電話番号 : 03-3918-3100
FAX番号 : 03-3918-3511
推奨用途 : セラミックシーラント
使用上の制限 : 業務使用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

GHS区分に該当する項目はない
眼への重篤な損傷/眼刺激性
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
GHS区分に該当する項目はない

区分2A
区分2(呼吸器、肝臓)

環境に対する有害性

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
強い眼刺激
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、肝臓の障害のおそれ

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

保管
廃棄

—
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
成分

: 混合物

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法		PRTR	毒劇
				表示	通知		
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	1-5%	112-34-5	2-422	≥1%	≥1%	非該当	非該当
二酸化ケイ素(非晶質)	0.1-1%	7631-86-9	1-548	非該当	非該当	非該当	非該当
トリプロピレングリコールメチルエステル	1-5%	25498-49-1	2-438	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合	:	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	:	直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に 外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	:	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	:	粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、散水
使ってはならない消火剤	:	棒状注水
火災時の特有の 危険有害性	:	火災によってCO ₂ 、CO等の有害ガスを発生するおそれがある。
特有の消化方法	:	消火作業は可能な限り風上から行う。 消火するものは、適切な保護具を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス雑巾等でよくふき取る。
多量の場合土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などから容器に回収する。

中和

「13. 廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止策

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。
安全シャワー、洗眼器を設置する。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いとは、換気の良い場所で行う。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度	安衛法	設定されていない		
	日本産業衛生学会 ACGIH	設定されていない ジエチレングリコールモノブチルエーテル TWA 10ppm		

設備対策
適切な全体換気または局所排気を行う。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具
手の保護具	不透過性保護手袋
眼の保護具	安全眼鏡、安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質	
物理的状态	液体
色	ピンク色
臭い	リンゴの香
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	95℃
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水に対する
n-オクタノール／水分配係数(log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
相対密度	0.98
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他データ	情報なし

10. 安定性及び反応性	
反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取り扱いでは安定。
避けるべき条件	加熱、炎、火花
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素

11. 有害性情報				
急性毒性	経口	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	ラットLD ₅₀	5080～9600mg/kg
		トリプロピレングリコールメチルエステル	ラットLD ₅₀	3200mg/kg
	経皮	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	ラットLD ₅₀	>2000mg/kg
		トリプロピレングリコールメチルエステル	ウサギLD ₅₀	15440mg/kg
	吸入	—		
皮膚腐食性／刺激性		情報なし		

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分2A
呼吸器感作性	情報なし	
皮膚感作性	情報なし	
生殖細胞変異原性	情報なし	
発がん性	二酸化ケイ素	区分1A
生殖毒性	情報なし	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分1(呼吸器、肝臓)
	非晶質シリカ	区分1(呼吸器)
誤えん有害性	情報なし	

12. 環境影響情報

生態毒性	急性魚毒 甲殻類 藻類	ジエチレングリコールモノブチルエーテル ジエチレングリコールモノブチルエーテル ジエチレングリコールモノブチルエーテル	ブルーギルLC ₅₀ 1300mg/L(96時間) オオミジンコEC ₅₀ >100mg/L(48時間) セネデススEC ₅₀ >100mg/L(72時間)
残留性・分解性	情報なし		
生体蓄積性	情報なし		
土壤中の移動性	情報なし		
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されている成分を含有していない。		
他の有害影響	情報なし		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送：

国連番号	該当しない
品名	—
国連分類	—
容器等級	—
海洋汚染物質	—

航空輸送：

国連番号	該当しない
品名	—
国連分類	—
容器等級	—

緊急時応急措置指針番号(NAERG)

国内規制

船舶安全法	船舶安全法に従う
航空法	航空法に従う
消防法	消防法に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

化学物質排出管理促進法

非該当

労働安全衛生法

通知・表示義務物質 ジエチレングリコールモノブチルエーテル

	有機則	該当する成分を含まない
	特化則	該当する成分を含まない
毒物及び劇物取締法		非該当
消防法		2m ³ 以上で 指定可燃物 可燃性液体類

16. その他情報

ITW Evercoat SDS

Version number 2

Reversion date 16 Jun. 2021

本SDSは下記規格に準拠して作成しています。

JIS Z 7252:2019 「GHSに基づく化学品の分類方法」

JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法」

ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS)」

NITE CHRIP

GHS 政府分類

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。